

都市再生整備計画

志^し都^ず美^み地^ち域^{いき}北^{ほく}部^ぶ(白^{はく}鳳^{ほう}台^{だい}・尼^{にん}寺^じ)地区

奈^な良^ら県 香^か芝^{しば}市

平成27年2月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	奈良県	市町村名	香芝市	地区名	志都美地域北部(白鳳台・尼寺)地区	面積	59.1 ha
計画期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度	交付期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度				

目標

大目標 既成市街地と新興市街地が混在する地域の交流による住環境の向上

目標 1 地域交流拠点の形成と緑を活用した地域の活性化

目標 2 防災拠点形成と徹底した交通安全

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 本市は、大阪都市圏に近接しベッドタウンとして人口の増加が続き、今日まで成長を続けている「若いまち」である。今後も人口増加が想定される中で成熟した都市【住・働・憩】三拍子そろったまちづくりが求められている。
- 市北部に位置する本地域は、古くから形成された尼寺地区と昭和57年から平成元年に亘る区画整理事業により市街地が形成された白鳳台地区により構成されており、地域の南東方約700mにJR和歌山線志都美駅、地域の東には国道168号、南方約500mには西名阪自動車道の香芝1Cがあり、鉄道・自動車交通のアクセスが良好な地域である。
- 地域北部の尼寺廃寺跡が平成14年3月19日に国史跡に指定され、現在、塔跡や金堂跡など歴史公園として整備を進めており、本市における歴史文化財の拠点として注目されている地域である。
- 地域中央を東西に通過する都市計画道路尼寺関屋線が一部供用されており、香芝王寺環境施設組合「美濃園」や事業中の香芝市スポーツ公園整備事業へのアクセス道路として整備されている。

課題

- 都市計画道路尼寺関屋線は、美濃園に向かう唯一の幹線ルートであることから収集車などの日中の通過交通が多く、地域を分断しているのみならず、通学路の安全性の向上についても継続した改善を求められている。
- 地域の一次避難地(志都美小学校)までの経路は、道路が狭く、本市の北端であることから避難までに時間を要する。尼寺地区では、特に古くからの市街地であるため特に狭い道路が多く、災害時の避難経路としても国道168号や都市計画道路尼寺関屋線への円滑なアクセスが困難であることから、災害箇所によっては地区が孤立する恐れがある。
- 白鳳台地区は、区画整理事業完了から25年経過し、社会・経済状況も相まってオールドタウン化が見受けられ、住宅更新が懸念されている。

将来ビジョン(中長期)

- 第4次香芝市総合計画(平成23年3月)では、『笑顔と元気!! 住むなら かしば』を10年後の将来像としており、本地域の整備に関連して自然環境(緑地)の保護、交通安全対策の強化、道路整備の充実、地域コミュニティの充実・醸成、歴史文化財の保存と継承・展開といった施策を位置付けている。
- 香芝市都市計画マスタープラン(平成18年3月)では、『伝統と新しい文化のいぶきがみなぎる香芝市』を都市づくりの基本理念としている。本地域が該当する志都美周辺地区の地域別構想においては、『ふるさと意識を育む地域環境の創造』を大きな目標に①安全で利便性の高い道路・交通の充実、②自然と共生した住環境の形成、③自然や歴史に親しむ地域づくりをまちづくりの目標としている。
- 香芝市緑の基本計画(平成12年3月)では、『青垣に囲まれた自然と共生する公園都市』をテーマとして、香芝市スポーツ公園を緑化推進重点地区として定め、緑化に関する施策を総合的かつ積極的に推進していくものとしている。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
交流センター利用者数	人/年	中央公民館及び地域交流センターの年間延利用者数	施設の利用状況を把握する指標として、現施設の利用者数の8%の利用増を目指す。[目標1]	78,000	平成26年度	84,000	平成29年度
緑被率	%	地域内の緑のふれあい軸における緑被の割合	地域内の緑のふれあい軸における緑被の割合を数値目標として使用する。[目標1]	20	平成26年度	40	平成27年度
避難時間短縮率	%	地域内において、一時避難地まで徒歩8分以内で行くことができる人数の割合	本地域の一時避難地は志都美小学校となっていることから、新たな防災拠点となる地域交流センターの整備することにより、避難地まで徒歩8分以内で行くことができる人数の割合[目標2]	30	平成26年度	75	平成29年度
収集車通行台数	台/日	尼寺関屋線における収集車の1日あたり通行台数	畑分川線の整備及び尼寺関屋線における通学路安全対策事業の実施により、尼寺関屋線を通行する収集車の台数が減少すると想定されることから、当台数を数値目標として使用する。[目標2]	100	平成26年度	70	平成31年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 地域交流拠点の形成と緑を活用した地域の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オールドタウン化が見受けられる地域の中心地において、地域交流のシンボリックな施設として地域交流センターを建設し、住民相互の交流により地域を活性化させ住環境の維持・向上を図る。 ・緑化推進重点地区でもある香芝市スポーツ公園の整備を進めるとともに、史跡尼寺廃寺跡の整備にあわせて敷地内に万葉植物を植栽・展示し、史跡整備との相乗効果により歴史文化財の拠点として充実した整備を図る。また、両施設を結ぶ緑のふれあい軸(香芝市都市計画マスタープラン)を、新設する地域交流センターを拠点とする交流動線として位置付け、尼寺地区内より都市計画道路尼寺関屋線へ結ぶ道路を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次都市施設：地域交流センター(基幹事業) ・万葉植物園整備事業(提案事業・地域創造支援事業) ・史跡尼寺廃寺跡整備事業(関連事業/市) ・香芝市スポーツ公園整備事業(関連事業/市) ・市道新設事業(関連事業/市)
<p>整備方針2 防災拠点形成と徹底した交通安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本地域の防災拠点として地域交流センターを建設し、一次避難地として位置付ける。 ・「ため池の治水利用施設」(大和川流域総合治水対策協議会)の整備として尼寺菰池において流域貯留浸透事業を実施し、流域の治水対策を実施するとともに、整備予定の空間において、防災機能を持った公園整備を行う。 ・本地域において、路面標示や案内標識などの設置・改善により安全性の向上を図る。 ・新設された地域交流センターを拠点として当地域のまちづくり協議会を設立し、防災・安全の観点から地域住民主体の体制づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次都市施設：地域交流センター(基幹事業) ・公園(基幹事業) ・尼寺菰池流域貯留浸透事業(関連事業/市) ・通学路安全対策事業(提案事業・地域創造支援事業) ・地域まちづくり協議会事業(提案事業・まちづくり活動推進事業)
<p>その他</p>	

都市再生整備計画の区域

志都美地域北部地区(奈良県香芝市)	面積	59.1 ha	区域	白鳳台一丁目、白鳳台二丁目、尼寺、尼寺一丁目、尼寺二丁目、尼寺三丁目、今泉の一部
-------------------	----	---------	----	--

